



摂食嚥下障害看護 認定看護師教育課程 (B課程)

教育期間 2027年4月～2028年3月

募集人数 4名 ※ 新見市内に在住・在勤の方を対象に【新見市枠】を設けます。
詳細については、募集要項をご覧ください。

試験期日 2026年10月3日（土） ※志願者多数の場合は翌日にも試験を実施します。

出願期間 2026年9月1日（火）～ 2026年9月11日（金） 17:00【必着】

試験内容 筆記試験（専門科目、小論文）、面接試験

出願資格 下記の要件を満たしていることを条件とする

1. 日本国の看護師免許を有すること
2. 看護師免許を取得後、通算5年以上¹⁾の実務研修²⁾を有すること
3. 摂食嚥下障害看護分野における実務研修²⁾を有すること

- ◎ 摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を通算3年以上³⁾有すること
- ◎ 摂食嚥下障害患者を5例以上担当した実績を有すること
- ◎ 現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい

- 1) 2026年7月31日時点で看護実務経験が60か月以上であることを意味します
- 2) 実務研修とは、看護実務経験を意味します
- 3) 2026年7月31日時点で通算36か月以上を意味します

※ 募集要項・出願書類は大学ホームページから各自でダウンロードしてください。

お問い合わせ



NIIMI UNIVERSITY
新見公立大学 NiU

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2
電話：0867-72-0634（代表）
E-mail：cn-enge@niimi-u.ac.jp



新見公立大学 摂食嚥下障害看護 認定看護師教育課程の概要



■教育理念

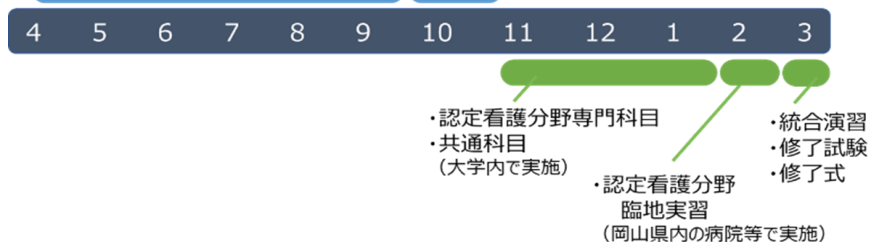
本学の摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程では、高度専門化する保健・医療・福祉の現場において、看護を必要とする対象の課題解決および生活の質向上に貢献するために、生命の尊厳を基盤とする豊かな人間性と高い倫理観を有し、特定領域に関連した科学的根拠に基づいた水準の高い看護を実践できる人材を育成します。

■教育目的

保健・医療・福祉の課題が複雑化、多様化、重層化する地域社会において、自律した看護専門職として活躍するための水準の高い実践能力、指導力、調整力を有する摂食嚥下障害看護認定看護師の育成を目指しています。

■開講スケジュール（4月～翌3月） * 変更になる場合があります

- ・開講式、オリエンテーション
- ・共通科目、特定行為区分研修
 - * e-ラーニングでの講義（自施設での実施可）
 - * 学内演習（大学内で実施）
- 特定行為臨床実習
 - * 自施設あるいは協力施設で実施



■本教育課程の4つの特徴

特定行為を含むカリキュラムを通じて、EBN（科学的根拠に基づく看護）に基づく臨床推論力・病態判断力・看護技術を系統的に習得します。

高齢化や医療資源の限られた**課題先進地域の現場で学ぶ**ことにより、中山間での地域包括ケアや在宅医療でのリアルな課題解決能力を養います。

看護職としての**勤務と学びを両立**できるカリキュラムで、実務と学びを結びつけ、実践的で学習効果の高い教育を提供します。

少人数制だからこそ可能な、一人ひとりの背景や学習状況に応じた丁寧なサポート体制で、確かな成長を支援します。

全世代型地域包括ケア研究センターとは

本センターは、課題先進地域にある地の利を活かして中山間地域の健康・生活課題の解決の方策を検証し、実践モデル（新見モデル）を構築することを目的として、2023年に創設されました。



全世代型地域包括ケア研究センター 新見モデル

中山間地域における様々な健康・生活課題の解決
* 産学官民共同研究に基づく全世代型地域包括ケアシステムの構築
* 産学官民協働・共創による実践モデルの構築、人材育成

ソーシャル
インクルージョン部門

メンタルヘルス部門

ウェルネスライフ
部門

コレクティブインパクト
部門

